//
旅程
法政大学　「国際哲学特講」
2014 年度アルザス研修　プログラム案
2015 年 2 月 3 日（火）－ 9 日（月）　6 泊 7 日

法政大学参加者 ：
・哲学科学生 19 名
・教員 安孫子信 先生（ 20 名）

2/3
16:10　羽田空港よりドイツ・フランクフルト空港到着（フランクフルト 16:10 LH7243）
17:00　第一ターミナルよりチャーターバスにてドイツ・ハイデルベルグへ
　　(CEEJA[セジャ・アルザス欧州日本学研究所]スタッフ同行)
夜　自由夕食
ハイデルベルグ泊

2/4
朝食後、ハイデルベルグ大学に向けて出発（徒歩）
9:00　ハイデルベルグ大学東アジア研究センター・日本学学科にて合同ゼミ。英語・日本語使用。ジュディット・アロカイ先生他。
　[テキスト]：九鬼周造『「いき」の構造』(岩波文庫)
　[テーマ]：異文化を理解することは可能か？
　法政側：パワポを使った問題提起の発表（20 分程度）
12:30 大学学食にて昼食
13:30 学生と共に旧市街見学（学生牢・ハイデルベルグ城）
17:00 チャーターバスにてアルザスへ向け出発
19:00 中途のレストランにて夕食
22:00 CEEJA 着
CEEJA 泊

2/5
7:30　CEEJA にて朝食
8:30　バスにてストラスブールへ出発
終日ストラスブール大学
10:00－12:00　黒田昭信先生レクチャー・ディスカッション。テーマ「自己認識の方法と

しての異文化理解 ― 自己変容としての理解 ―」
（参考図書：『月の裏側―日本文化への視点』クロード・レヴィ＝ストロース）
12:00　大学近辺のレストランにて昼食（UdS 教員同席予定）
14:00-17:30 ストラスブール大学院生と合同ゼミ。日本語使用
［テキスト］：高橋哲哉『靖国問題』（ちくま新書）
［テーマ］：正しい歴史認識・正しい歴史的感情は存在するか？
法政側・ストラスブール大学側から計 3 本：パワポを使った問題提起の発表（各 20 分程度）
18:00　カイザスベルグに向けバスにて出発
19:30　カイザスベルグのレストランにて夕食
22:00　CEEJA 帰着
CEEJA 泊

2/6
7:00　CEEJA にて朝食
CEEJA にて
8:00-11:45　ストラスブール大学院生と合同ゼミ。日本語使用
［テキスト］：高橋哲哉『靖国問題』（ちくま新書）
［テーマ］：国民（国家）が和解するとはどういうことなのか？
法政側・UdS 側から計 3 本：パワポを使った問題提起の発表（各 20 分程度）
11:45　ストラスブールに向け出発
13:00　ストラスブールのレストランにて昼食
午後　旧市街見学
17:30 ワイン街道沿いレストランに向け出発
19:00　レストランにて夕食
21:30　CEEJA 帰着
CEEJA 泊

2/7
8:00　CEEJA にて朝食
9:30　コルマール市内見学(ウンターリンデン美術館)。自由昼食。旧市街散策。
15:00　CEEJA に向け出発。着後、近隣を自由散策。
18:45　CEEJA よりレストランに向け出発。
19:00　レストランにて夕食。
21:15　CEEJA 帰着
CEEJA 泊

2/8

8:00　CEEJA にて朝食

9:30-11:45　　CEEJA にて、マガリ・ブーニュ氏レクチャー・ディスカッション

『青い目で見る能楽』ー芸能の概念の相違とそれを巡る「受容」の問題

（参考図書　『風姿花伝（現代語訳）』）

12:00　ワイン街道沿いの村リクヴィルに向け出発、レストランにて昼食　その後村を見学

16:00　CEEJA に向け出発

19:00　CEEJA にてディナーパック配布

CEEJA 泊

2/9

6:30　CEEJA にて朝食

8:00　バーゼル空港に向けてチャーターバスにて出発　（バーゼル発 10:40　LH1203）

※全移動手段はチャーターバス

2/10

8:45 フランクフルト経由で成田着（LH0710）